

# 浅草寺病院だより

平成 30 年  
【冬号】

平成 30 年 1 月 10 日発行  
社会福祉法人浅草寺病院  
東京都台東区浅草 2-30-17  
☎ 03-3841-3330

## 理念

観音さまの大慈悲のみこころにそって、  
思いやりの精神のもとにあたためた医療を提供します。



## 新年を迎えて

病院長 黒田忠英

新年あけましておめでとうございます。平成 30 年(2018 年)新しい年を迎えました。

浅草の町は、今年も多く初詣参詣者であふれ、にぎやかなお正月を迎えました。子供からお年寄りまで多くの参詣者で浅草寺の境内も賑わっておりました。

さて、超高齢社会において、今後 2025 年に向けて 75 歳以上の後期高齢者は増加の一途をたどります。2025 年には、約 800 万人といわれる団塊の世代が 75 歳以上になり、国民の 4 人に 1 人が後期高齢者になります。一方、日本の総人口は、2010 年を境に減少し続けています。若い労働人口が減る中で、今後さらに増加する後期高齢者を支えることは非常に厳しい状況が想定されます。今までは、大勢で 1 人を支える胴上げ型であったものが、2012 年以降は 3 ~4 人で 1 人を支える騎馬戦型、そして 2050 年には 1 人で 1 人を支える肩車型になると予測され、国民一人ひとりが高齢者を支える体制がすぐ目の前まで訪れています。今年、診療・介護報酬の同時改定の年であり、今後 2025 年に向けての分水嶺と言われています。国の財政が厳しく、医療費の削減が急務の中、医療・介護の分野も厳しい状況が続いています。

そして、これから更に増加の一途をたどる高齢者をどのように支えていくか考えた場合、地域包括ケアシステムで示されるように、地域で高齢者を支えるシステム作りがより一層、重要になってきます。年齢が進めば進むほど、今まで普通にできていたことが出来なくなり、自宅で同様の生活を継続することは困難になってきます。たとえ生活環境が一部変化したとしても、医療・看護はもちろんのこと、介護・リハビリ、保健・予防活動、そして生活支援・福祉サービスを駆使して出来る限り住み慣れた地域で住み続けられるように、地域にはいろいろな機関が存在します。病院、診療所、施設、そして行政、支援・介護サービスを提供する事業所など、地域が一丸となって支えていく必要があります。

浅草寺病院も地域に根差した病院としての役目を果たすべく、今年もより一層地域の様々な機関との連携を強化・拡大していきたいと考えております。診療所、施設からの患者様の受け入れをスムーズにし診療の連携強化に努めてまいります。各種検査のご依頼にもできるだけお答えできる環境を整備し、CT、MRI などの検査に関しては、できるだけ早く、そしてわかりやすい結果をお返しできるようにいたしました。

今後も、かかりつけの患者様、そして近隣にお住いの患者様には、かかりやすい病院、相談しやすい病院となるよう、各関係機関と協力しながら、地域医療連携の中で、地域包括ケアシステムの中での役目をより一層果たせるように努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

「おなら」は医学的には放屁と呼ばれ、腸内のガスが肛門から排出される現象を指します。おならをしない人は世の中にいません。誰もがする日常的なことではありますが、実はおならについて皆さんが知らないことが沢山あります。いくつか紹介してみましょう。

①人は腸内で1日に 500mlー1500ml のガスを作り出して、10-20 回のおならで排出します。

②その内、1/4 は口から飲み込んだ空気で主に酸素と窒素です。酸素は体内で吸収されてなくなる部分もありますが、窒素はなくなり、おならとして外へ出すしかないので。ガムをかんだり炭酸飲料の多飲でも飲み込む空気が増えます。早食いも然り。また病的な原因としては、不安が強くストレスが多い人や過敏性腸症候群(IBS)の人も飲み込む空気の量が多い傾向があります。

③他の 3/4 は、腸内細菌によって作り出されたガスです。食事として摂った炭水化物の内、野菜・雑穀や果物に含まれる食物繊維は消化されずに大腸に届きます。これが腸内細菌の栄養となりますが、その時に化学反応が起こりガス(二酸化炭素、水素、メタン)が発生するというメカニズムになっています。水素やメタンが混ざっているため、おならに火をつけると燃え上がるという話は本当です。

④こうして溜った腸内ガスがおならとして排出されますが、99%は無臭です。1%だけが、インドール、スカトール、硫化水素などで臭うのです。これは腸内細菌が硫黄などを含んだ食物と化学反応をした結果発生します。豆類、玉ねぎ、にんにく、にら、カリフラワー、芽キャベツ、ブロッコリー、チーズなどです。但し、硫黄は大切な栄養素であり、この理由だけで食べるのを控えるのは賢いことではありません。

⑤おならによって大腸がんや慢性疾患の診断を試みた研究もありましたが、おならが空気中ではすぐ薄まってしまうことや、成分分析が難しいなどの理由から、現時点ではまだ成功したものはないようです。

いくつか知っていることはありましたか？

## 放射線科からのお知らせ

## 放射線科

昨年、当院は新しいMRI装置を導入しました。以前の装置より短時間かつ精度の良い検査が可能になりました。MRI装置とは磁石と電波を用いて、体の中を調べ画像化する装置です。レントゲンやCT装置とは異なり、放射線を使わないので被曝の心配もありません。検査時間は内容により異なりますが、30分から40分程度かかります。脳梗塞、脳動脈瘤、椎間板ヘルニア、圧迫骨折などさまざまな疾患に有効な検査が可能です。特に、頭部MRI検査ではVSRAD(早期アルツハイマー型認知症診断支援システム)という検査で脳の萎縮度を調べ、認知症の評価をすることが可能です。MRIで認知症の診断支援ができると、早い段階で治療を行うことができるので認知症の進行を遅らせることができます。近年、認知症を患っている人は65歳以上で7人に1人と推定されています。高齢になるほど認知症になる確率は上がっていきます。認知症に対処するために65歳を迎えた方は一度MRIでVSRAD検査を受けてみてはいかがでしょうか。

